

2025年3月1日に第1回の広島神戸放射線治療研究交流会が開催されました。これまで12回開催しました医学物理研究交流会に放射線治療医の先生方にも参画いただき、さらなる医学物理研究のブラッシュアップや臨床に即した研究の推進などを進めていくことになりました。ご提案いただいた広島大学の村上教授および神戸大学の佐々木教授に感謝申し上げます。今回は総勢25名の方にご参加いただき様々な議論が行われました。

神戸大学からは、大学院生の山内史人君から「切除不能局所進行膵がんに対する定位放射線治療計画上の体内吸収性スペーサー留置の有用性予測」に関してご発表いただき、赤坂浩亮先生に「メルボルン大学留学報告」をご発表いただきました。医師からの報告として、本研究交流会から研究が始まった「食道癌患者の骨格筋 Radiomics 解析を用いた予後予測」に関して神戸陽子線センターの岩下和真先生にご発表いただきました。また広島大学からはAIによる治療計画の自動化や TomoTherapy の MLC の品質管理手法の提案など多岐にわたる内容でそれぞれの演題に関して熱い議論が行われました。医師の先生方からも活発な質疑が行われ大変有意義な議論ができたと思います。

次回は、2025年夏に広島での開催を予定しております。広島大学に良い刺激を受けながら各々の研究を加速させ世界に発信できるようになることを期待してご報告とさせていただきます。



全体での集合写真